

函館市中心市街地活性化協議会 平成25年度第2回総会 記録

- 1 日 時 平成25年7月1日(月) 午後2時～3時
- 2 場 所 ロワジュールホテル函館 3階「彩雲」
- 3 要 旨 下記のとおり

定刻、事務局より総会開会を告げ、本日の出席者数を報告し、規約に基づき会員の半数以上が出席していることから総会は有効に成立する旨述べる。

続いて、永井会長より開会の挨拶が行われた後、規約に基づき議長に同氏を選出し、議事に入る。

## 1 議 題

### (1) 渡島ドーム整備に関わる「特定民間中心市街地活性化事業計画」について

(株)函館朝市まちづくりの会、代表取締役社長坂口氏より挨拶が行われた後、函館朝市協同組合連合会事務局長松田氏より当計画の説明がなされた後、議長が出席者に諮ったところ、下記の意見が出されたあと異議なく拍手を持って承認された。

渡辺委員

補助率がケースにより変わるとのことだが、交付を受ける補助金の額も変わるのか？

松田局長

あくまで補助金額の上限は3億である。

小林委員

イベントホールの用途はどのようなニーズに対応か？ 2階が閑散となる心配はないか？

松田局長

昨年の調査の分析から住民参加型イベントのニーズが解りこのようなスペースを考えた。料理教室の部分はイベントスペースと一体化しているものと捉える。1階で購入したものを2階で料理、イベントに参加してもらいその後朝市を回ってもらう等想定している。

小林委員

他のイベントスペースなどとの差別化を検討しているか？利用率などはどうか？

松田局長

現渡島ドームにおいてもイベントなど行われるが用途が限られる。今回は朝市連合会も主体となって事業にかかわり、賑わいを創出したい。

小林委員

今フードコートなどでの立食が流行している。イベントをやるにも料理人からは食材はたくさんあるのに場所が無いとの声が聴かれる。朝市のような海辺がすぐ脇にあって食材が豊富な場所は貴重な存在であり、観光客の通行の導線として考えるとおもしろい。チャレンジショップ的視点を持ち独創性を持ってもらいたい。

畠山委員

建物のつくりを見ると、1階と2階の連携が重要な要素とみるが。

松田局長

イベントホールは利用者の使い勝手を鑑みているが、細かな部分の修正もあり得る。ニーズなどを深く検討し利用者が簡易に使えるようなものにしたい。

(2) 「中心市街地活性化基本計画の記載事項一部変更について」

事務局(函館市経済部)より説明があり総会付議事項として全員異論なく了承された。

## 2 その他

事務局より当基本計画に掲載されており、本町地区の商業活性化に資する重要な位置づけにある、五稜郭グルメ村(Gサイト)整備事業の支援について、昨年引き続き、中小企業基盤整備機構の支援メニュー「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」を協議会として実施し、スムーズな事業化に向けて支援したい旨報告があった。

以 上